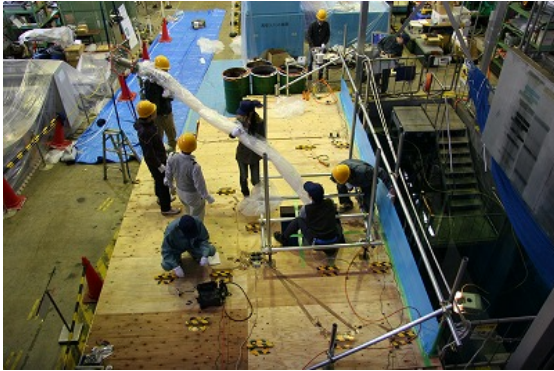


+++++

装填モックアップ試験の様子

東北大学ニュートリノ科学研究センターは、神岡鉱山（岐阜県飛騨市）の地下 1,000m の実験室に「カムランド」を建設し、ニュートリノ科学の研究を推進しています。

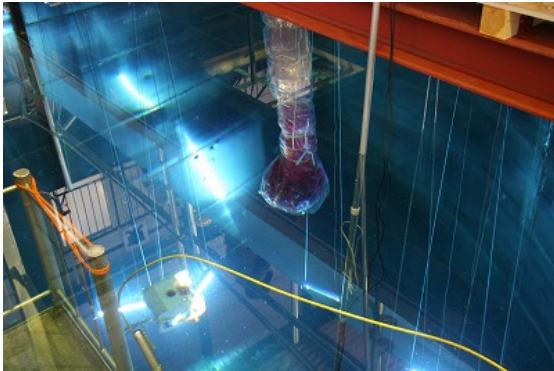
今回、東北大学の研究者が、弊社技術開発センターの実験棟模擬ウエルを使用して、カムランドにおける二重ベータ崩壊実験に使用するバルーンの装填モックアップ試験を実施しました。5月27日から6月5日にかけて、実際と同じ条件で大型プールを満水にして、バルーン（直径3.4mでポリエチレン製）を投入する試験が行われました。試験により、バルーンを水中に装填できスムーズに膨らむことを確認しました。



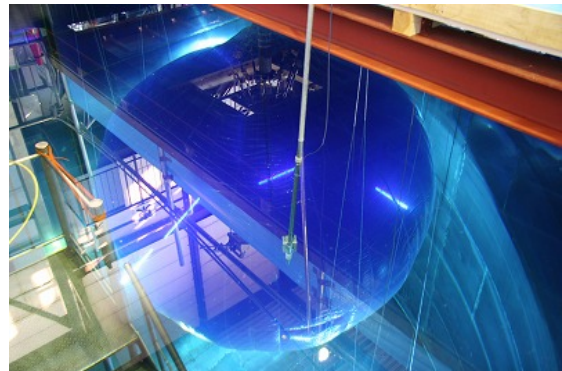
試験用バルーン投入



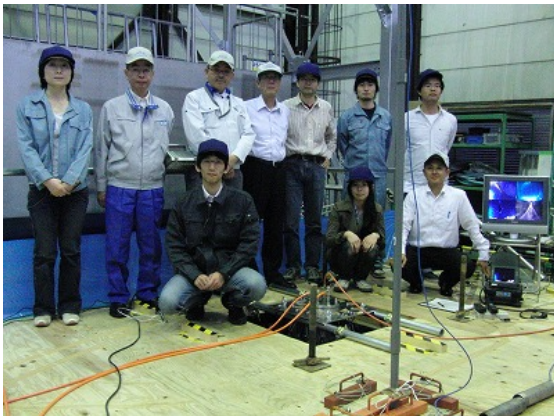
試験用バルーン投入



模擬液をバルーンに注入



バルーン満水の状態



ニュートリノ研究センター研究員とアトックス社員